

第3回習志野市まち・ひと・しごと創生総合戦略等策定懇話会 議事録

日 時：平成27年8月27日（木曜） 13時30分から 15時20分まで

場 所：習志野市役所庁舎分室サンロード津田沼6階 大会議室

委員出席者：朝倉委員（会長）、田村委員（副会長）、寺木委員、師橋委員、時田委員、菅野委員、古賀委員、布川委員
 （欠席：有田委員、小林委員）

事務局出席者：諏訪企画政策部長、遠山企画政策部次長
 真田企画政策課長、越川主幹、伊藤主任主事、柴垣主任主事

議 題：（1）習志野市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」について
 （2）その他

議 事 録：

事務局	<p>開会に先立ちまして事務局よりお諮りしたいことがございます。会議録を公表する際、原則発言者の氏名を記載することとなっており、そのことについて懇話会として承諾していただいてから懇話会を開催することとなっております。</p> <p>第1回懇話会の会議録では、現在A、B、C表記での公表とさせておりますが、今後、発言者の氏名を会議録に公表してよろしいかお諮りしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
委員一同	<p>－承諾－</p>
事務局	<p>ありがとうございます。それでは第1回懇話会の会議録を含め、会議録には発言者の氏名入りで公表したいと思います。</p>
会長	<p style="text-align: center;">開 会</p> <p>ただいまより、第3回習志野市まち・ひと・しごと創生総合戦略等策定懇話会を始めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは次第に従いまして議題を進めさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">報告事項(1)習志野市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」について</p> <p style="text-align: center;">＜資料1に基づき事務局より説明＞</p>
会長	<p>ありがとうございます。ただいまご説明をいただいた人口ビジョンの素案について、ご意見ご質問があればと思いますが、いかがでしょうか。</p>

寺木委員	<p>今の説明で、67 ページの「目指すべき将来の人口像」が 16 万 4 千人との話でしたが、これは 28 ページからの「将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の分析」のシミュレーション結果のうち、一番良い推計結果ということですか。</p>
事務局	<p>一番良い推計結果ですと 16 万 8 千人となる自然増の「シミュレーション 1」になります。16 万 4 千人とは、どのシミュレーションを採用したという形ではありません。一番近い実態として、自然増では「シミュレーション 2」もしくは社会増では「シミュレーション A」になります。こちらは自然増なら自然増だけのシミュレーション、社会増なら社会増だけのシミュレーションの形を採用しているため、他との繋がりが分かりにくいということがあります。この中で、28 ページに記載しましたが、仮に「シミュレーション 2」の総人口 164,207 人を自然増で実現できると想定すると、平成 37 年までに合計特殊出生率が 1.6 超程度まで回復しないと厳しい結果となります。その後、出生率を一定とした試算における平成 53 年の総人口と概ね同程度となる形となっています。</p> <p>ただし、自然増を考慮するだけですと生産年齢人口の比率が下がることになるため、社会増で補うべきと考えています。</p>
寺木委員	<p>16 万 4 千人の目標を達成するためには、この後、どのような施策をすべきかとの話に繋がっていくかと思いますが、今は施策を実施する話の中で KPI が設定されています。そのようであれば施策と KPI が整合出来ているかなど細かいことを考えなければなりません。その辺りは、KPI のご説明でお話しいただけるかと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>目標人口の 16 万 4 千人とは、市の今後の人口予測では 17 万 4 千人がピークとなることから、人口減の幅を 1 万人程度にとどめようと設定した数値になっています。寺木委員からのご意見にありますように、「繋がり」をどのようにしたら分かりやすく、もう少し構築できるかについて考えているところですが、今日までには結論が出ておりません。</p>
会長	<p>資料 1 の人口ビジョンの素案と資料 2 の総合戦略の素案との繋がりが必要だと思います。人口のピークから 1 万人減にとどめるための施策が提案されていて、この施策がきちんと実行されているかを KPI でチェックすることになるかだと思います。1 万人減にとどめるための論理が必要ではないでしょうか。</p>
事務局	<p>資料 1 の 68 ページに「人口動向分析の課題」を記載しています。対応 1 か</p>

<p>会長</p>	<p>ら対応4の内容が資料2の表紙のページの基本目標に繋がっていくと考えています。</p> <p>寺木委員からの質疑は「対応1から対応4の記載内容は、将来の人口像が16万4千人だろうが、16万8千人だろうが変わりはない」とのお話しかと思います。</p>
<p>寺木委員</p>	<p>目標とする数値が多少変わっても、その数値が達成できれば1万人減が抑えられるとの保証もないですね。</p>
<p>企画政策部長</p>	<p>寺木委員の質疑のとおり、目標人口を16万4千人と設定した上で、総合戦略においてKPIが設定されていますが、例えばこの項目を実施すれば3千人が確保できるなどの根拠付けは出来ていません。</p>
<p>寺木委員</p>	<p>難しいのは重々承知の上ですが、人口推計での数値なり、KPIで設定した数値なりの具体的な根拠が問われることがあります。その時にきちんと説明が出来るのか、また、5年後にKPIの達成状況をチェックする時に、結局、目標達成出来なかった時に説明が問われるかと思います。知らないと開き直るのも手かもしれませんが、アカウンタビリティの話で、出来るだけ説明できる努力は必要ではないでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>ただいまのご意見はかなり重要なところですよ。これまでの事務局のご説明ですと、その辺りをローリング（修正）しながら効果がある箇所を優先的に実施し、効果のない箇所は取り下げるということでもあります。そのようであれば、事務事業評価の際にどのような形で評価シートに落としていって、その翌年ないし5年間の全体の効果としてどのように見ていくかを今のうちに決めた方が良いかと思います。そうすると、それがエビデンス（証拠）になるので、寺木委員からご意見いただいたアカウンタビリティを達成できるようになると思います。市が行う事務事業評価に加え、KPIと紐付けをした方が良いかと感じました。</p> <p>他にいかがでしょうか。先ず人口ビジョンの話ですが、本日がパブリックコメント前の最終回となるため、このタイミングでコメントを頂けたらと思います。</p> <p>その後、資料2の総合戦略に繋がっていきますが、先回りして総合戦略との突合せを確認させていただきます。資料1の67ページの「将来の人口像の実現に向けた基本方針」が資料2の1ページの「実現に向けた基本方針」に対応がなされているとの理解でよろしいでしょうか。これを目標としてブレイクダウンしたのが「基本目標の①～④」であり、それらが資料1の68ペー</p>

	<p>ジの「対応1～4」と関連していると考えてよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>「対応1～4」は「基本目標①～④」にそのまま関連しているものと重複して関連しているものがあります。</p>
会長	<p>資料1の68ページの上段のA～Dを確認していただきたいのですが、以前、寺木委員より「AからDの課題からどのような対応が考えられるのか整理した方が良い」とのご意見をいただきました。先ず「課題A～D」があって「対応1～4」が複雑な対応関係になり、更に「対応1～4」が資料2の「基本目標①から④」に関連するとなると、課題に対してどのような方針で対応していくかが複雑になってしまう気がします。「対応1～4」と「基本目標①～④」が揃っていれば分かりやすいかと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>概ね対応していると考えますが、例えば「基本目標2：魅力あるくらしのできる習志野へ“新しいひとの流れ”をつくるまちづくり」の目標の中に子育て世代の転入者数の増が掲載されています。本来ですと、「対応1：子育て世代の定住促進」に該当する内容かもしれませんが、「対応2：魅力あるまちづくり、社会増と交流増の維持への多様なチャレンジ」に関連づけて整理しています。</p>
会長	<p>事務局としては、「対応1～4」と「基本目標①～④」は揃えるつもりでしょうか。対応と基本目標で別個のものと考えていけば進め方が変わってくるかと考えます。</p> <p>私個人の意見では揃えた方が分かりやすいと思います。「対応1から4」を「基本目標①から④」に上手く擦り合わせた方が全体の施策の柱がきれいに整うと思います。</p>
事務局	<p>人口ビジョンは平成53年までの期間の中で、必要となる課題への対応を記載しています。このような中で総合戦略は5年間でどのように取り組むかを基本目標の中で記載しています。</p> <p>現在のところは、人口ビジョンにおける課題への対応と総合戦略における5年間の目標との形で分けている状況です。</p>
会長	<p>ご説明をいただいた内容については、計画書内に記載した方が一般の方々には分かりやすいかもしれません。人口ビジョンの方はあくまでも67ページに書かれているように、平成53年を目標とした対応方針だということになります。しかし「対応方針に合わせた5年間の目標を決定する」という話の方</p>

事務局	<p>が分かりやすいのではないのでしょうか。対応1を踏まえた5年間の目標、対応2を踏まえた5年間の目標のようにした方が分かりやすいかと思います。敢えて組み替えるならば、組み替える必要性について説明する必要があるかと思います。</p> <p>基本的には対応1～4と連動をしているのですが、ただ、対応1～4は年代で分けている部分がありますので、その部分が完全に合致しないことがあります。「対応3：若者の定着・定住の促進」は「基本目標②：魅力あるくらしのできる習志野へ“新しいひとの流れ”をつくるまちづくり」及び「基本目標③：しごとをつくり、“働きたい”をかなえるまちづくり」に分離している状況になっています。</p>
会長	<p>そのようなことが一部に見えてしまうと、対応1～4なり、基本目標①～④が十分に満足していないのではと思ってしまいます。重複があるのであれば、なぜ重複があるのかを説明した方が良いと思います。ご検討いただけたらと思います。</p>
事務局	<p>どのように重複し、どのように対応しているかを記載するように検討したいと思います。</p>
会長	<p>68ページの課題と対応の図のようなものが別途出てきてしまうことは、良くないのではないのでしょうか。課題と対応と基本目標を図化すると入れ子構造の図になり、美しくないと思いますが。</p> <p>もしかすると対応1～4を削除した方が良いのではとの話も出てくるかと考えます。</p>
事務局	<p>第1回懇話会の中で「対応1～4はどのように連動しているのか分からない」との質疑があり、68ページにある内容を追加しました。</p> <p>当初、「人口動向分析の課題がどのように結びついているかが判然としない」とのご意見をいただき、ワンクッションを置くために対応1～4を記載しました。そのような流れがありましたが、課題A～Dを基本目標①～④に結びつくような記載に変えた方がよろしいのでしょうか。</p>
会長	<p>入れ子構造が更に複雑になるのであれば、対応した方が良いと思います。ただ、「平成53年に向けた対応方針があつてそれを基に5年間の基本目標に設置します」とのストーリーであれば、現在のような形での整理で良いかと思います。</p>

企画政策部長	<p>寺木委員・会長からのご意見については、庁内会議で諮りたいと思います。現段階で事務局から申し上げられるのは、対応1～4を取って基本目標①～④に並列的な整理にしなくても良いのではと思います。</p> <p>対応が複合的で分かりづらいのであれば、論文形式のように文章で表現すれば良いかと考えています。課題に対し、どのような形で取り組んでいくのか文章を載せ、総合戦略のなかで課題に対応するための4つの基本目標を立てるとの繋がりにすれば分かりやすいのではないのでしょうか。</p> <p>これで会長および寺木委員のご意見に対応できるかと思います。</p>
会長	<p>分かりました。そのようにご検討お願いいたします。</p>
<p><資料2に基づき事務局より説明></p>	
会長	<p>ありがとうございます。総合戦略の素案の説明をいただきましたが、ご質問ご意見がありましたらよろしく願いいたします。</p>
古賀委員	<p>基本目標①の「子育て支援施策の満足度」や「学校教育の施策の満足度」が両方とも20%台で驚いています。3ポイント増を目標としても全体で約30%になり、満足度が低いと思われませんか。満足度20%であることは悪い状況であり、3%しか改善する気がないと思っています。数値としては低い気がします。</p>
事務局	<p>ご意見のとおり、数値としては決して高くないと考えます。これは市民意識調査中で「わからない」と回答する方が非常に多いことが影響しているかと思いますが、それをおきましても他の施策と比べ、満足度は高くないことはあります。</p>
会長	<p>市民意識調査は、誰が回答していますか。</p>
事務局	<p>15歳以上の3,500人の市民が対象になっています。</p>
会長	<p>子育てをしていない方も対象になっているため、「わからない」と回答している方がいるかと思いますが、数値の見せ方として古賀委員からのご意見のように誤解を招かない方法はあるのでしょうか。</p> <p>他市と比較してもそのような結果になるのでしょうか。また、一般的に低いのでしょうか。比較できるデータはないのでしょうか。</p>
企画政策部長	<p>他市の回答とは、設問の違いもあるため、あまり比較したことはありません。</p>

第3回習志野市まち・ひと・しごと創生総合戦略等策定懇話会 議事録

	ん。
会長	第1回懇話会で議論があったと思いますが、流山市と同じような取組みをした時にどうなるかが分かれば重要な糸口が見えてくるかと思います。
企画政策部長	古賀委員のご意見は庁内会議でも同様の意見ありました。現実的に数値が低い理由として、市民意識調査の選択肢が「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「わからない」の5項目のみであること、15歳以上の方を無作為抽出しているため、15歳ぐらいのお子さんや子育てが終わった世代が「わからない」を選択していることが考えられます。
古賀委員	「わからない」と回答した方を除くことはできないのでしょうか。
事務局	数値上で示せると思いますが、「わからない」を選択した方がいる中で、そこだけを抜き出すことは恣意的ととられかねないとも考えます。
会長	それはそのとおりだと思います。そのようであれば、よくわからないまま「3%増えれば良い」ということになる気がします。ご検討をお願いできないでしょうか。どのように検討したかは追ってご説明していただくようお願いいたします。
師橋委員	数値目標が挙げられるなか、それに対する根拠が基本目標①から④となっているかと思います。例えば、基本目標④「自主防災組織加入世帯数」が2,000世帯増と記載しており、それに対する解説が27ページから始まっていますが、2,000世帯を増やす根拠はどこから来ているのでしょうか。先程の3%増もそうですが、1つ1つの数値目標を設定した理由を関連付けられると良いかと思います。
会長	KPIの1つ1つの数値根拠となると難しいかと思いますが、少なくとも1ページの基本目標にぶら下がっている数値に関しては、師橋委員がおっしゃるように「3ポイント増えるとこんなに良いことがありますよ。2,000世帯増えるとこういった効果が得られますよ。」と分かった方が良いかと思いますが、いかがでしょうか。
事務局	この部分は表現や説明などが難しい箇所でもあります。こちらに関してはもう少し検討したいと思います。
企画政策部長	先程、寺木委員がおっしゃっていたことに通じる内容になるかと思いま

	<p>す。ある意味で、この数値は感覚的なことも含まれていると考えられ、担当部局と調整をしながら検討します。全て理由付けができるかどうかは、現在お答えすることはできませんが、パブリックコメント前を期限に検討をさせていただきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>目標を達成するばかりに、費用対効果の悪くなるようなことを続けることが無いように柔軟に考えることが必要と思います。KPI 自体に柔軟性を与えるのか、あるいはその目標自体に柔軟性を持たせるのか。どのようにしてローリング（修正）していくかが重要となります。本来ならばローリング（修正）の仕組みを最後のページに記載できればと思います。この計画ではKPIの羅列で終わっています。通常の進行管理のような章が計画書内にありませんが、無くても良いのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料1の71ページに「4. 政策の目標設定と政策の検証の枠組み」で説明しています。</p>
<p>会長</p>	<p>これは一般的な話であり、計画として、どのような形でKPIの見直し、PDCA サイクルにつなげていくか記載が必要ではないでしょうか。よく見受けられるのは最終章に記載するものが多いと思います。</p>
<p>企画政策部長</p>	<p>今後検討したいと思います。</p>
<p>布川委員</p>	<p>先程の子育て支援で3ポイント増などの記載がありますが、目標とするなら100%を目指すのが普通ではないでしょうか。そもそもKPI設定をする狙いが、費用対効果がどれくらいなのかを知りたいために実施するかと考えます。事業がいろいろ羅列されていますが、その事業に対して何ポイント増加すればいくら費用がかかるかを明記するのはどうでしょうか。他の自治体でも実施していて、平均として何%増加するといくらかかるのかが分かれば良いかと思います。理由付けのところに「費用対効果から何%上がる」という形にすると説得力が高まると感じます。</p>
<p>会長</p>	<p>アクションプランでは、費用対効果をどのようにみるか、を現段階で検討をお願いしたいということだと思います。</p>
<p>布川委員</p>	<p>例えば32ページの具体的な施策「広報まちかど特派員活動の充実」としてKPIの延べ人数を13人から69人としていますが、私の主観では、特派員の数はそこまで重要ではないと思います。KPIとして設定する指標であれば、「特派員の人数」ではなく、「特派員が発表したコンテンツの数」をカウ</p>

	<p>トした方が良くと思います。人数を増やすならお金を掛ければ済むことですが、成果を確認するには人数ではなく、コンテンツの数ではないでしょうか。</p> <p>また、18 ページに大学と地域との連携がありますが、大久保地区公共施設再生事業や袖ヶ浦団地活性化事業は地域が限定される形になりますが、習志野市は大久保地区と袖ヶ浦地区以外にもあります。総合戦略は5年スパンの計画であり、その5年以内にそれら以外の地区でも似たような事業を実施する可能性があるかと思えます。そのような時に備え、基本目標が出来上がった後でも取り込めるような制度を作っておいた方が良く考えます。</p> <p>また、総合戦略を運用していく上で必要と考える項目が増えたり減ったりするかもしれません。1年ごとに行われるPDCAサイクルとしてKPIを見ますが、それだけではなくKPI自体の全面的な見直しと調整が出来るよう、評価項目を増やしたり減らしたりできるようにフレキシブルな対応が出来るよう隙間を作っておくことが実用性のある戦略にするためには非常に大事ではないでしょうか。</p>
事務局	<p>「広報まちかど特派員」につきましては、延べ人数を設定したのですが、布川委員のご意見の形態がよろしいかと思いました。コンテンツ数などが出るのであればそちらの方に差し替えたいと考えます。</p> <p>大学の関係ですが、ここで載せているKPIは習志野市の前期第一次実施計画で確実に実施されるものや交付金対象事業を載せています。元々、市が計画していたものであるため、5年間に更に多くの取組みを行うかどうかは、予算の関係上、現段階では未定です。現段階で、袖ヶ浦地区と大久保地区でワークショップを開催することがある程度確定しているため、記載させていただいています。項目を増減することについては、今後検討させていただきたいと思えます。</p>
布川委員	<p>第2回懇話会で「習志野ブランドとは何か」との話が挙がりましたが、習志野市長期計画の前期第一次実施計画をベースに考えるのであれば、そのような話をする必要はなかったと思えます。今回の委員会では、習志野市長期計画などの既に定められた政策パッケージも取り込み、より良い戦略を策定したいという思いで参加しています。なので、既に行われている政策を基にするのは当然ですが、これから取り組まれると考えられる物事にも十分考慮された戦略を策定するべきではないでしょうか。</p>
会長	<p>KPIの妥当性までは十分に見切れていないと思えます。お気付きの点等がございましたら、パブリックコメント前に事務局へコメントをお寄せいただきたいと思えます。パブリックコメント前の素案として出来るだけ反映させ</p>

第3回習志野市まち・ひと・しごと創生総合戦略等策定懇話会 議事録

	<p>るということによろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>9月4日までにお寄せいただければ対応いたします。パブリックコメントは9月18日からですが、その前に庁内で調整が必要になるためです。</p>
会長	<p>9月18日からパブコメが開始されるため、9月4日までにご意見をお寄せいただいて、事務局で検討し、素案に反映してもらうようお願いいたします。</p> <p>KPI の件でも結構ですし、資料3の第2回懇話会での主な意見を踏まえてでも構いません。</p>
古賀委員	<p>17 ページに記載がある「④若者にとって居住地として魅力あるまちづくり」について、元々18.9%のものを20.0%に設定していますが、1.1%しか増加しない状況ということが気になります。高いものを更に上げていくのは大変であると理解していますが、全体として広く浅く感じます。どこか一つ跳びぬけた数字を掲げると、それが習志野市の特色に繋がるかと思いました。</p>
会長	<p>私も同感です。どこかアクセントになるような箇所があればと思います。</p>
企画政策部長	<p>市民意識調査を基にした指標とすれば、基本的に市民全員の満足度が100%にすることが最終的な目標値ではあると思いますが、様々な年代がいるなかで100%を達成することは無理ではないでしょうか。</p> <p>現在、「習志野市は良いまち」と思う方が40%として、今後80%になるような項目があれば可能だと思いますが、総合戦略の5年間で、年代毎にターゲットを絞ってKPIを設定するならば目標値は低くならざるを得ませんでした。</p>
会長	<p>KPI 自体の見直しは、アクションプランを継続する中で実施しますか。</p>
事務局	<p>基本目標は基本的に5年間変わらないとは思いますが、KPI の見直しは行ってまいります。</p>
会長	<p>目玉となる指標の設定がブランドづくりにつながるかと思います。</p>
菅野委員	<p>民間等との連携が肝になると考えます。パブリックコメント終了後にアクションプランが具体的に出されると思いますが、その時は民間の業界・団体等を積極的に取込める仕組みを考えた方が良いのではないのでしょうか。計画</p>

<p>会長</p>	<p>の期間でその体系もフレキシブルに変え、具体的に成果が上がるような形で民間の知見を生かせるようなアクションプランが出来たらと考えます。</p> <p>現段階での KPI では無理だと思いますが、連携についてある程度のイメージを持たれた方が良くと思います。</p> <p>同様の施策を考えている組織がどのような取組みをしているかとの情報収集が重要になります。商工会議所では創業支援が行われ、中小企業で取り組まれている所もあります。市だけで単独に実施するのではなく、今まで行っていた組織等とどのように連携・役割分担するかが重要だと思います。どのように情報収集するかについても、上手く計画の中に落とし込めるようにご検討をお願いします。</p>
<p>時田委員</p>	<p>目玉になるようなものがあればと思います。全体的な施策を見ると、当然ながら延長線上であって、どういう形の工夫を加えていくかとのスタイルではないでしょうか。習志野らしさという特色が言い出せないままです。</p>
<p>会長</p>	<p>第2回懇話会で「習志野ブランドとは」について事務局から投げられました。アイデアがあれば、突拍子の無いことでも構いませんので、ご忌憚のない意見を頂けたらと思います。</p> <p>現在までのご意見をうかがうと子育てに重点を置かざるを得ないのではないのでしょうか。行政はマイナスをゼロにするのは得意かと思いますが、ゼロからプラスに変えていくことが上手く出来ません。</p> <p>例えば学校でモデル事業を実施することはどうでしょうか。もちろんエアコンを設置する、トイレをきれいにする 것도大切ですが、それぞれの学校で特色を出して力を注ぐ「学校特色化計画」をつくと面白いと思います。</p>
<p>師橋委員</p>	<p>習志野の特徴は大学に関すること以外ありませんが、18歳～22歳の若い学生の力を地域活性化につなげるアイデアを盛り込めなかったのでしょうか。卒業しても継続して住んでもらって、将来、習志野市民になってもらえるような魅力あるまちづくりをどこかに記載したら、それが習志野市の特色になるかと思います。</p>
<p>布川委員</p>	<p>習志野ブランドは谷津干潟とっていましたが、大学がたくさんあることも習志野のブランドの1つになりえます。つくば市が研究学園都市と言われるように、習志野市も十分、学園都市になれるのではないのでしょうか。</p> <p>個人的に生涯学習に力を入れたら良いと思います。小学校、中学校、高校、大学の全てが市にあることから、道徳教育の1つとして地域とのコミュニケーションを行い、それにプラスして地域の人々や大人の世代にも場所を</p>

	<p>用意できたと思います。自分の中で一番印象に残る楽しかった時代は学生時代でした。しかし最近社会人になった知人は土日曜日は何もすることが無いと言っています。高校や大学までは進級していく過程で課外活動などは続けられますが、卒業して社会人になると急に途切れてしまいます。高校や大学が支援していたサークルやコミュニティの活動スペースが支援を受けられなくなり無くなるからです。</p> <p>市は人口減少により公共施設再編の取組みをしているかと思います。1つの提案ですが、小学校や公共施設などの空いているスペースを生涯的な活動を支援する為に小さな活動団体にも場所を提供していくのはどうでしょうか。また、支援の延長戦としてベンチャービジネスや起業を考える方のために場所を用意してもよいかと考えます。起業を考える上で場所の確保は大きなハードルの1つとなっている様なので、新規事業支援という点でも場所の提供は効果的なのではないかと考えます。</p> <p>何かを取組むことは、集まるスペースがあつてこそ進めることができます。就職後も市に貢献する活動を行う方に場所を提供する制度があればと思います。公共施設を開放し、「終わらない学生時代」と言いますか、就職しても学生みたいいろいろな学び、勉強ができる場があれば面白いのではないのでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>今の話でポイントになるのは、公益施設がどこまで場所を貸すことが出来るか、お金を出せるかとの話になるかと思います。ただ、学習効果があり、公益に資する内容であれば実施すべきと考えます。しかし、趣味の領域と公益をどこで線引きするかが問題であり、公共の場所や支援体制が評価に晒されながら皆さんで考えていく制度を計画書に記載できると良いと思います。その辺りは、国分寺市の公共調達条例や他の自治体の条例等で検討しています。</p> <p>他にブランド的な話でも良いですし、計画に対する話でもご意見をいただけたらと思います。</p>
<p>副会長</p>	<p>皆さんのご意見をなぞるような形になりますが、資料1の67・68ページの入れ子構造になってしまう問題については、総花的ではなく、目玉になる内容があった方が説明もしやすく、施策を実施していく上でも進めやすいかと思います。1つのことを実施すると様々なことに効果が上がってくるのは当然ですが、そこを説明的に行うのではなく、柱として絞って表現していくことが大事ではないでしょうか。</p> <p>習志野ブランドについて、お役所の書類になると、どうしてもあまり批判を受けないよう万遍なくという形になりますが、それでも目玉が必要になってきます。市には世界に誇れるような大学が3つあり、また、習志野高校は</p>

	<p>世界に誇れるものですし、ブラスバンドや高校野球にしても、生徒たち一人ひとり見ても素晴らしいものがあります。市民でいられること、共感できることが幸せですし、布川委員や古賀委員のような若い世代の普段の活動を見ても、エネルギーや発想力、機動力は素晴らしいと思います。「終わらない学生時代」というのがとても響きましたが、今の若い世代のエネルギーは爆発的なものがありますので、潜在的なものを引出すきっかけを示してあげられたらと思います。</p> <p>フリースペースについて、1フロアだけでも習志野のあらゆるボランティアの方々に利用してもらうのはどうでしょうか。習志野市には長年熱心に活動されている方がいるとの情報をあらゆるメディアで聞いていますので、それをもっと広げ、市民団体の支援を伸ばしていくと良いと思います。</p> <p>柏市の KOIL (柏の葉オープンイノベーションラボ) のコラボにしてもフリースペースがあり、市民なら3Dプリンタが自由に使え、様々な団体が利用することができます。フリースペースには机が並び、株式会社が立ち上げられるような試みもしています。一人ひとりに支援していくことも大切ですが、市全体の長期的なビジョンも勉強できたら良いと思います。習志野は文教のまちとして、文化的意識、市民意識がとても高い地域なので、そのようなことも強みにして柱にしていきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>アクセントになるところ、目玉になるところなど、皆様のご意見をいただきたいと思います。</p>
<p>寺木委員</p>	<p>前回、私の大学の田島先生が関わる袖ヶ浦団地をご紹介くださってありがとうございました。それ以外にも私の授業で商店会を活性化するにはどうしたら良いかとのプランを考える演習を行いました。今後、継続的に実施していく予定ですが、商店会から忌憚のないご意見をいただいています。地域に愛着や関心を持つような授業は他にもいろいろ行っており、当然、習志野市も協力しています。頑張っていることを具体的に記載することは難しいとは思いますが、若い世代が市に対して愛着を持つようにしていただけないでしょうか。本日は残念ながら、市内の大学生ではない方たちがインターンシップでお見えになっていますが、市内の大学生にも会議の傍聴をしてもらうように考えるべきだったと思いました。</p> <p>もう1つ気になることは、下宿して大学に通う学生は市内に就職先が無く、卒業すると市外へ出ていくことです。現実的に難しくても、企業誘致をする努力も必要ではないでしょうか。</p> <p>また、津田沼駅から湾岸の工業地帯に向かってバスが出ており、バスで通勤している方は就業人口の中に入っているかと思います。市では製造業が柱のうちの大きい部分を占めていますが、海外に負けて市外へ出ていくような</p>

	<p>企業もあるかと思います。その辺りについてもう少し積極的なテコ入れが必要ではないでしょうか。今後、製造業の人が市内で働き続け、京葉線から南側は工業地帯として維持できるよう検討しているわけですから、計画に反映できるようなことが実施出来ないかと考えています。ブランドではありませんが、その辺りお考えいただけないでしょうか。</p>
<p>企画政策部長</p>	<p>ご意見ありがとうございます。全体を通してコメントさせていただきます。</p> <p>フリースペースや生涯学習の場について、会長からのご意見のとおり、どこまで公益性・公共性があることかに視点を置かなければならないかと思えます。学生に卒業後も住んでもらいたいという思いはありますが、例えば「市内にギターを練習するスタジオがあれば、住むのか」とのことに繋がっていきます。</p> <p>公共施設の再生を図りながら複合化してスペースを確保し、それが学生の年代に拘らず、生涯学習の場として市民の方々に広く提供できるようなものを進めていきたいと考えています。また、学生が自分たちの活動の場が必要であれば、民間サイドから商店街等で活動できるように働きかけていきたいと思えます。柏市の事例でもありましたが、市民活動を支援していくスタンスでの考え方も必要ではないでしょうか。</p> <p>習志野市が持つ工業用地・製造業用地の考え方をPRし、現在、事業を営む方たちが少なくとも離れず、もしくは空いたスペースがあればすぐに埋まるようなPRが必要だと思えます。資料2の企業活動・地域産業の活性化には「魅力ある習志野市ですよ。地区計画で工業地域として定められて住居系を排除しています。」まで含めたPRは必要だと思えます。そのようなところをPRしていく施策を考えるのはどうでしょうか。</p> <p>その他に様々なご意見がありましたが、引き続き9月4日までいただいたご意見を含め、9月18日のパブリックコメントにかけるまで精査していきたいと思えます。</p>
	<p>菅野委員</p> <p>学生を長く住まわせるきっかけとして、まずは関心を持ってもらうこと、次に体験・経験をして市を理解する仕組みづくりを民間の力を借りて考えていくことが大切かと思えます。市民意識調査に関して、選択肢に「わからない」を含めると概ねの方が「わからない」と回答する傾向になります。「良い」との回答を増やすためには、市が何に取り組んでいるのかを知らせる必要があります。これからは、行政の方も民間のようにPRすれば、施策の効果が上がっていくと思えます。ただ、インターネットで発信しておけばよいのではなく、そこに対してどのような反応があったかを理解し、どのようにPRができるのかといった売り込みの考え方が必要ではないでしょうか。</p>

<p>会長</p>	<p>上手く費用対効果と照らし合わせながら、5年後に市としてこれで進めていこうと決定できるようなイメージを持つことが必要になるかと思いました。</p>
<p>副会長</p>	<p>PRについてですが、熱心で情熱を持ち一生懸命さが伝わってきますが、苦手と感じています。市役所に資料を置いていても知らない方は知らず、手に取らなければ素晴らしい物を作っても伝わらないと思います。「習志野きらっと」の時に群馬県上野村の方が出店していましたが、「習志野市と上野村は健康増進都市として連携している」との説明がなく、なぜ出店しているか分からなかったのではないのでしょうか。</p> <p>インターネットが普及し、知ろうと思えばいくらでも知ることは出来ます。しかし、大学との連携など一生懸命素晴らしいことを行っている、知らない人はいつまでも知らないかと思います。もっと出しゃばるぐらいPRしたらどうでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>住民票が発行出来て、選挙の時も投票が出来るように3大学のキャンパス内に市の出張所を設置するのはどうでしょうか。</p>
<p>企画政策部長</p>	<p>大学生アンケートでは「習志野市のどこに何があるかわからない。」とのご意見を多くいただいています。少なくとも大学の学生課や就職課があれば、副会長のご意見のようにパンフレットを設置する等の現実的な話を考える必要があります。行政はPRが下手と感じます。確かに、しつこいくらい発信することもその通りですが、発信方法も視覚や音で訴えるのかを含め、検討していきたいと思います。統一感がなく、パンフレットを作成しても手に取ってもらえないようなものが出来上がっていることもあるかと思います。</p> <p>これらのことを含め、庁内の体制で力を入れる必要がありますので、次年度以降、取組みたいと思います。PR自体は非常に大切なことだと思っていますのでシティセールスとして力点を置きたいと考えています。</p>
<p>布川委員</p>	<p>会長よりご意見のありました「大学に出張所などはあった方が良い」は同感です。私は習志野市新庁舎建設基本構想策定市民委員会にも関わっていますが、「千葉工業大学に出張所を入れたら良い」との意見がありました。大学は津田沼駅前に位置するためメリットがあり、大学との繋がりを持たせる1つになるかと思います。最近は公共施設をアウトソーシングするケースも増えており、そのようなスタイルを検討しても良いと思っています。特にPRの話もそうですが、「自分たちが出来ていないからどうにかしろ」と言っても無理なものは無理かと思います。そこは専門のところにアウトソーシング</p>

第3回習志野市まち・ひと・しごと創生総合戦略等策定懇話会 議事録

<p>会長</p>	<p>して、必要などころにはお金をかけても良いのではないのでしょうか。選択と集中のように、お金を使うところは使い、絞るところは絞ることが必要です。選択肢として民間の活用を推進したら良いかと思います。</p> <p style="text-align: center;">議題(2)その他</p> <p>9月4日までにご意見をいただければ、パブリックコメント前の素案に反映することができます。本日で意見終了ではなく、9月4日までには少しでもコメントを事務局に寄せていただけたらと思います。その後9月18日からパブリックコメントを実施し、最終回である第4回懇話会を10月下旬に開催したいと思います。</p> <p style="text-align: center;">＜日程調整＞</p> <p>本日欠席の2名の方の都合も含め、改めてご連絡差し上げ、再調整ということにいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>次回の会日程は追って、会議録のご報告と共にさせていただきます。</p> <p>9月4日までにご意見をいただきましたら、出来る限り反映した形で作成し、パブリックコメントの前に案を送付させていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p>本日はありがとうございました。</p> <p>閉 会 15:20 終了</p>